

● アジアの REIT 購入が増大

日本では7月に入り、東証 REIT 指数が 07 年 10 月以来の高値となっているが、7月 17 日の日経朝刊は、世界主要中銀の金融緩和観測を背景に金利が低下し、金利低下が個人の住宅ローン利用を促し、住宅や不動産価格の上昇が追い風となって、債券などより高い利回りを求める投資家が、配当利回りや経済の成長性の高いアジアの不動産投資信託（REIT）や不動産株購入を進めていると報じている。現在の経済動向の下で、これは当然の成り行きと考えられるが、不動産価格が過度に上昇すれば、REIT の物件取得が難しくなる懸念が広がり、また、早晩、これ以上の金利低下が難しい局面を迎える中で、不動産市況の過熱感が生まれ、上記日経朝刊が指摘する通り、揺り戻しを警戒する声も当然に生じてこよう。